

事業 1	ものづくり基本計画	(方針1) 企業の誘致と留置の推進		平成27年度					
	事業名	(事業1) 企業立地の推進		予算額	481,350 千円				
				決算見込額	468,013 千円				
	事業概要	<p>企業の誘致と留置の推進については、すでに策定済みの「静岡市企業立地戦略指針」や企業立地促進法に基づく「静岡市地域の基本計画」を進めるとともに、事業者の抱える課題等を把握していきます。また、企業に対しては、遊休用地・設備等の再編をはじめ、市内における事業継続、新規立地を促す情報提供及びPR活動のほか、優遇策の提供により、市内企業の留置と市外からの新規誘致を積極的に進めます。</p> <p>特に、広域交通インフラを活かした物流関連産業の立地促進、都市機能の集積を活かした都市型関連産業の立地促進、そして第2次静岡市産業振興プランに掲げた戦略産業の立地促進などを実施していきます。</p> <p>さらに、企業立地用地の確保の推進については、民間による開発促進に向けた支援の拡充のほか、公共による開発を含めた用地確保を検討します。</p>		取組状況	H27.9.1 現在	<p>市内企業の誘致、市内企業の留置に向けて、積極的な企業訪問を実施し、企業立地を促す情報提供や助成制度の提供により、企業立地の促進に努めている。</p> <p>市内の不動産情報を収集・提供する制度を設け、用地情報を市HPに掲載し、市内に立地を希望する企業等に対し、情報を提供しマッチングを進めている。</p> <p>工場立地や事務所賃借、富士山静岡空港関連事業のほか、企業立地促進法に基づく「事業高度化計画」について、県知事の承認を得た中小企業の機械設備設置事業に対する助成制度の活用を促進している。</p> <p>(7月31日時点の取組状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規企業立地件数 4件 ・市内企業訪問 198件 ・市外企業訪問 46件 ・企業立地相談件数 69件 			
					補足事項	進捗率等	H27.9.1 現在	(新規企業立地件数) 4件	24 (%)
							H28.3.31 現在	(新規企業立地件数) H27 / 17件	100 (%)
	成果目標	新規企業立地件数 17件/年 (静岡市地域基本計画) 平成25～29年度 85件/5年		事業評価	■新規企業立地件数 17件				
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業結果	<p>市内企業の誘致、市内企業の留置に向けて、積極的な企業訪問を実施し、企業立地を促す情報提供や助成制度の提供により、企業立地の促進に努めている。</p> <p>市内の不動産情報を収集・提供する制度を設け、用地情報を市HPに掲載し、市内に立地を希望する企業等に対し、情報を提供しマッチングを進めている。</p> <p>工場立地や事務所賃借、富士山静岡空港関連事業のほか、企業立地促進法に基づく「事業高度化計画」について、県知事の承認を得た中小企業の機械設備設置事業に対する助成制度の活用を促進している。</p> <p>(参考事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内企業訪問 631件 (平成28年3月末) ・市外企業等訪問 89件 (") ・企業立地相談件数 306件 (") 			
		大施策	(1) 地域の特性を活かした多彩な産業の集積促進			次年度に向けた改善点 ・ 目標の未達成理由等	総合戦略の重点事業である「本社機能移転・拡充」案件発掘のための取組や、企業がメリットを享受するために静岡県に申請する「特定業務施設整備計画」の作成支援の強化		
	中施策	①企業の誘致と留置の促進							
産業振興プラン位置付け	基本方向	3 次代を担う産業集積の構築							
	基本方針	(2) 物流クラスターの強化・・・※1 (3) 企業等の誘致・留置・・・※2							
	基本施策	※1 ③低・未利用地の活用促進 ※2 ①県外企業等の誘致の推進 ②市内企業等の留置の推進							
担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係		その他(特記事項)						

事業 2	ものづくり基本計画	(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)		平成27年度			
	事業名	(事業2) 全国規模等の見本市への出展助成		予算額	15,045千円		
				決算見込額	14,966千円		
	事業概要	市内の中小製造事業者が、販路を開拓し、製品の販売促進に向けて、市内外で開催される全国規模、または国際的な展示会や見本市等に出席又は開催する経費のうち、小間料等を助成します。 助成内容の拡充については、助成に基づく成約額等の実績などを考慮しながら検討していきます。		取組状況	H27.9.1現在	■平成27年9月1日現在、 補助申請件数 49件※(35件)※相談中の企業数は含まない 執行額 13,826千円(10,124千円) ※()内は平成26年9月1日の数値	
				補足事項	進捗率等	H27.9.1現在	①交付決定企業数 ①49件 ②対予算執行額 ②91.8%
		H28.3.31現在	①補助金利用企業数 ①55件 ②対予算執行額 ②99.4%				
	成果目標	全国規模展示会等への出展・開催件数 55件/年		事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■申請件数：55件 執行額：14,966千円(平成28年3月31日現在) ■申請企業数は3社増、執行率はほぼ満額執行となった。 ■当補助金を利用した55社の内、海外展示会への出展を行った企業数は3社、また新規利用が13社あり、徐々に補助金の周知が図られている。 ■金融機関を中心に補助金の周知活動を実施し、助成制度の活用促進に努めた。 ■10月時点で予算がほぼ満額執行となるため、年度末に展示会出展を検討する企業が利用できないケースが多くなってしまった。 		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> ■年度末に出展を予定する申請者に対しても、本助成制度を活用できるよう、申請受付期間を2期に分けて運用を行う。 ■他の助成制度との関連性を持たせ、より効果的な販路開拓が行える等、制度内容の変更を検討する。
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
		中施策	新市場・販路開拓に対する支援				
産業振興プラン位置付け	基本方向		その他(特記事項)				
	基本方針						
	基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係						

事業 3-1	ものづくり基本計画	(方針2)新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)		平成27年度		
	事業名	(事業3)首都圏におけるプロモーションの強化 (事業3-1)特産品東京展示会事業		予算額	4,637千円	
				決算見込額	4,629千円	
	事業概要	この事業は、首都圏の商業施設等(東京丸の内KITTEやJR新宿駅構内のイベントコーナーなど)において、本市特産品の展示販売のほか、職人による実演等を実施し、伝統的工芸品を含む地場産品の販売促進に取り組みます。 また、展示会事業では、展示販売だけでなく、バイヤーを招いて商談機会を設けるなど、更なる販売促進に結び付ける取組も実施していきます。 開催会場については、本市地場産業にとって、収益性の向上等の効果が見込める会場を検討して選定します。		取組状況	H27.9.1 現在	■10月14日～16日までの3日間、東京新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて、「静岡市の特産品 新宿展示会」を開催し、伝統工芸品を中心とした、本市地場産品等の販売を予定している。また、例年出展している、駿河漆器、駿河指物等の工芸品だけでなく、市内で活躍する若手職人にスポットをあてた展示も企画している。その他、家康公顕彰四百年のPRも行い、静岡市のシティープロモーションを行う予定である。
		補足事項		進捗率等	H27.9.1 現在	0(%)
	成果目標	会場売上金額(万円) 500万円/年(2,000万円/4年)			H28.3.31 現在	536万円 107(%)
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業結果	■10月14日～16日までの3日間、東京新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて、「静岡市の特産品 新宿展示会」を開催し、伝統工芸品を中心とした、本市地場産品等の販売を行った。また、例年出展している、駿河漆器、駿河指物等の工芸品だけでなく、市内で活躍する若手職人にスポットをあてた展示も企画した。その他、家康公顕彰四百年のPRも行い、静岡市のシティープロモーションを実施した。 期間中の来場者数 約12,720人 期間中の売上額 約5,365千円
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		中施策	新市場・販路開拓に対する支援、シティープロモーションの推進			
	産業振興プラン位置付け	政策方針	商工・物流		事業評価	当展示会は14回目をむかえ、来場者は1/3以上がリピーターで首都圏に定着してきたと言える。しかしながら約2割の方は静岡市の工芸品を知らないかと回答しており、工芸品のPRを強化することが課題である。 また、インバウンドの影響からか中国、香港などの海外の方も多く訪れており、今後外国人向けへのPRも重要となるため、多言語パンフレット、商品説明文等を作成し幅広い層に向けたPRを行っていく。 会場については、行革二次評価において要検討との指示があったが、 ・固定客があり、来場者、売上げ等において効果が出ていること、 ・出展者アンケートにおいて現会場が支持されていること、 ・シティープロモーションを兼ねており、通行量が多い同会場は効果的である ことから、出展者へ説明を行い同意を得ており、当面は同会場を使用していくこととした。
大施策		世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
中施策		新市場・販路開拓に対する支援、シティープロモーションの推進				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)			

事業 3-2	ものづくり基本計画	(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)		平成27年度				
	事業名	(事業3) 首都圏におけるプロモーションの強化 (事業3-2) ホビーのまち静岡推進事業		予算額	73,121 千円			
				決算見込額	71,236 千円			
	事業概要	ホビーのまち静岡の推進を図る中では、本市の特長であるプラスチックモデル産業を基盤としながらも、今後は、クリエイティブ、アート、コンテンツ等とホビー産業の関連分野との新たな連携や融合に取り組んで、ホビー関連産業の裾野拡大に努めます。 こうしたホビー関連産業の広がりに向けては、動画配信のほか、首都圏の商業施設等において、PR活動等を継続的に実施し、更なる顧客の拡大や新たな購買層の獲得に結び付けていきます。 このような裾野拡大やPR活動等の継続的な実施により、多くの方々に「静岡市に行けば、一生楽しめる趣味が見つかる」や、「ホビーと聞けば、即座に静岡市をイメージする」と認識していただけるように努めていきます。		取組状況 H27.9.1 現在	下記のとおり首都圏においてプロモーションイベントを開催した。 名称:ホビーのまち静岡in東京シティアイ 期間:平成26年5月2日~3日(2日間) 会場:東京丸の内KITTE地下1階 東京シティアイイベントスペース 概要:ホビー推進協議会静岡の各メーカーの製品展示、モデラー作品の展示を中心に「ホビーのまち静岡」及び「静岡ホビショー」のPRを行った。 来場客数:12,122人			
		補足事項			H27.9.1 現在	128,890人	57 (%)	
					H28.3.31 現在	238,901人	111 (%)	
	成果目標	関連施設・イベント入込客数 (現状 212千人/目標 H30 223千人) (H27 216千人/H28 219千人/H29 221千人)		事業 評 価	下記のとおりプロモーション事業を行った。 <首都圏PR> ■第1回目 名称:ホビーのまち静岡in東京シティアイ 期間:平成27年5月2日~3日(2日間) 会場:東京丸の内KITTE地下1階 東京シティアイイベントスペース 来場客数:12,122人 ■第2回目 名称:ホビーのまち静岡inダイバーシティ東京 期間:平成28年3月12日~13日(2日間) 会場:東京台東区 タイバーシティ東京プラザ 4F共用通路 来場客数:17,500人 ■小田急電鉄広告掲載 掲載枚数:中刷り広告 2,000枚(全車両)/駅貼りポスター 70枚(全駅) 掲載期間:中吊り広告 4日間/駅貼りポスター 2週間 <インターネットを活用したPR> ■ホビーのまち静岡 動画作成及び配信 概要:ホビーのまち静岡の歴史やイベントを紹介するPVを作成。youtubeやホビースクエアHPで動画を配信した。			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業結果			
		大施策	次代を担う本市を代表する産業を生み出します					
		中施策	戦略産業の育成・集積を推進					
産業振興プラン位置付け	基本方向	戦略産業の振興	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等					
	基本方針	観光・ブランド産業		①首都圏PRはより効果的な会場及びイベント内容の検討をする				
	基本施策	ホビー産業育成支援事業		②各プロモーション事業を実施したことによる効果を検証し、次年度以降の施策に反映していく。				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)					

ものづくり基本計画		(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援 (異業種交流支援を含む)		平成27年度		
事業名	(事業3) 首都圏におけるプロモーションの強化 (事業3-3) しずおか葵プレミアム認証事業	予算額	2,222 千円			
		決算見込額	1,527 千円			
事業概要	<p>この事業では、本市ならではの魅力を生かし、首都圏での販売が見込める商品づくりを支援します。具体的には、バイヤーを含むブランド認証専門委員による認証品のブラッシュアップをはじめ、認証品の販売促進に向けた販路の選定などを検討します。販路については、首都圏等の大消費地を想定する中で、JR秋葉原駅隣接の商業施設などにおける販売促進を支援します。</p> <p>また、食品系の認証品については、商工部内の連携のもと、首都圏に幅広い販売網を有する業界団体と協調を図り、商談会等を通じて、認証品の首都圏における販売を促進していきます。</p> <p>こうした本市ならではの魅力が生かされた認証品の販売支援を通じて、認証事業者の収益向上に努めるとともに、消費者に本市を思い描いてもらう認証品づくりについて、認証事業者、ブランド認証専門委員、関連事業者、市が連携を図りながら実施していきます。</p>	取組状況	<p>H27.9.1 現在</p> <p>■展示販売関係 ・駿府楽市「しずおか葵プレミアム展」 5月13日～5月19日 ・静岡ホビーショー 5月14日～5月17日</p>			
		補足事項	進捗率等	<p>H27.9.1 現在 (展示即売会数) 2回 (展示即売会数) 5.0 (%)</p> <p>H28.3.31 現在 (展示即売会数) H27 / 18回 (展示即売会数) 45.0 (%) 計 / 18回</p>		
成果目標	展示即売会 40回 / 4年	事業結果	<p>■展示販売関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駿府楽市「しずおか葵プレミアム展」 5月13日～19日 ・静岡ホビーショー 5月14日～17日 ・子ども未来プロジェクト 10月10日～11日 ・しんきんフェア 10月14日 ・ヘリポートまつり 10月24日 ・old cars festival 10月25日 ・オクシズまつり 10月24日～25日・11月21日～23日 <p>・大道芸WC 10月31日～11月3日</p> <p>・産業フェア 11月28日～29日</p> <p>・静岡交流会in東京 12月16日</p> <p>・秋葉原商談会 1月19日</p> <p>・鞠子楽市「しずおか葵プレミアム展」 1月21日～2月2日</p> <p>・クレア・バリ展示会 2月2日～13日</p> <p>・ドリブラ販売会 3月26日～27日</p> <p>・三保原屋LOFT販売会 3月17日～4月3日</p> <p>・ペガサート地下展示(3回)</p>			
総合計画の位置付け(分野別)	<p>分野別 商工・物流分野</p> <p>政策 政策2. 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります</p> <p>施策 施策1. 新市場・販路開拓に対する支援</p>		事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>■H28年度はH29年度からの認証再開に向けた準備期間とする。については、委員会を招集し、新制度構築のための協議を進めていく。</p>		
産業振興プラン位置付け	<p>分野別 商工・物流分野</p> <p>政策 政策2. 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります</p> <p>施策 施策1. 新市場・販路開拓に対する支援</p>		その他(特記事項)			
担当課等	経済局商工部 産業振興課 海洋産業イノベーション推進係					

事業 4	ものづくり基本計画	(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援 (異業種交流支援を含む)		平成27年度		
	事業名	(事業4) 中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援		予算額	76千円	
				決算見込額	76千円	
	事業概要	中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援については、新規顧客開拓や新分野進出を目指す市内企業を支援するため、情報発信及びビジネスマッチングの機会提供を推進します。		取組状況 H27.9.1 現在	<p>■まちなみがき戦略推進プラン事業 「中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援」 (情報発信・ビジネスマッチングの機会提供)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おた研究・開発フェア 平成27年10月8日～9日 募集終了 参加企業1社 ・おた工業フェア 平成28年2月5日～7日 募集予定1社 	
					補足事項	進捗率等
	H28.3.31 現在	(支援事業への参加企業数) H27 / 2社 計 / 2社	100 (%)			
	成果目標	おた研究・開発フェア及びおた工業フェアの出展企業数 2社/年		事業評価	<p>■まちなみがき戦略推進プラン事業 「中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援」 (情報発信・ビジネスマッチングの機会提供)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おた研究・開発フェア (太田区) 平成27年10月8～9日 出展企業1社 ・おた工業フェア (太田区) 平成28年2月5～7日 出展企業1社 	
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流			
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
	産業振興プラン位置付け	施策1	新市場・販路開拓に対する支援	<p>次年度に向けた改善点 ・目標の未達成理由等</p> <p>市内オンリーワン・ナンバーワン企業の発掘とその技術や製品の情報収集に向け、積極的に企業訪問を継続する。 また、市内中小製造事業所が持つ高い技術力の効果的なPRに繋げるような展示会等についての情報を広く集め、事業所に対し発信していく。</p>		
分野						
政策						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)			

ものづくり基本計画		(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援 (異業種交流支援を含む)		平成27年度	
事業名	(事業5) 地場産品の販路開拓と販売促進	予算額	23,413 千円		
		決算見込額	23,064 千円		
事業概要	<p>この事業では、伝統工芸創造部会の提言等に基づいて、次に掲げる5つのポイントのもとで、伝統的工芸品を含む地場産品の販路開拓と販売促進を検討して事業化を進め、地場産業関連事業者の収益性の向上に努めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(事業5-1) 伝統工芸品等の展示販売会の充実化 ■(事業5-2) 海外における地場産品の販路開拓 ■(事業5-3) インターネットの活用による地場産品の販売促進 ■(事業5-4) 間層的機能の再興に向けた検討 ■(事業5-5) 地場産品販売拠点の充実化 <p>伝統的工芸品を含む地場産品については、販路開拓と販売促進に関する課題を抱えているため、顧客のニーズを把握した上で、展示販売会の充実をはじめ、海外販路の開拓、インターネットを活用した販売促進に向けた支援を展開します。</p> <p>また、地場産品の販売拠点であるJR静岡駅構内の駿府楽市については、観光事業担当課なども連携し、観光客の来店を促す特典等を検討するなど、これまで以上に販売を促進させる取組を推進してまいります。</p> <p>さらに、伝統的工芸品については、売上げが見込める商品づくりに努めていきます。</p> <p>そのためには、首都圏等におけるテストマーケティングの実施をはじめ、顧客ニーズに関する情報を的確に伝統工芸職人に伝えるなど、消費者と生産者を結びとともに、伝統工芸分野の収益性を高める間層的機能の再興を検討してまいります。</p>	取組状況	H27.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■静岡市の特産品東京展示会事業、シズオカ「KAGU」メッセ等、各種展示会開催による販路拡大を行う ■海外展示会において、静岡市の工芸品を展示し販路開拓を行う ■駿府楽市等でのインターネットHPを改修し、販売力の強化をはかる ■駿府楽市との定例検討会の実施 5回 ■JR静岡駅構内アスティ静岡の「駿府楽市」静岡市特産品展示コーナーにおいて年間28回の展示会を開催予定、内現在までに12展示会を実施した。 <p>4/1~8/31までの来場者数 184,740人</p>	
		補足事項	進捗率等	H27.9.1 現在	業界及び駿府楽市との検討会実施回数 13回 駿府楽市来場者数 18.4万人
		H28.3.31 現在	各展示販売会来場者数 279,677人 駿府楽市Webページ改修 業界及び駿府楽市との検討会実施回数 27回 駿府楽市来場者数 42万人	(%)	
成果目標	(5-1) 各展示販売会来場者数 270,000人 (5-2) (海外に向けた) 開発と販路等の検討 (5-3) 駿府楽市Webページ改修 (5-4) 業界及び駿府楽市との検討会実施回数 27回 (5-5) 駿府楽市来場者数(万人) 41.5万人	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■静岡市の特産品東京展示会事業、シズオカ「KAGU」メッセ等、各種展示会の来場者数 279,677人 ■ロンドンのインテリア・小物等の展示会における静岡市の工芸品の開発品及び既存商品の著名展示会出品を支援し、海外バイヤー等の反応を確認した。 会場：テントロンドン 期日：平成27年9月 ■駿府楽市のWebページを小規模改良 ■駿府楽市との業界、市の検討会の実施 27回 ■JR静岡駅構内アスティ静岡の「駿府楽市」静岡市特産品展示コーナーにおいて年間27回の展示会を開催した。 年間来場者数 420,550人 	事業評価	
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針 商工・物流 大施策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります 中施策 新市場・販路開拓に対する支援、シティプロモーションの推進	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> ■海外展示会においては、バイヤー等の反応により展開の可能性を引き続き模索していく ■駿府楽市のWebページにおいては、小規模の情報更新は実施したが、掲載画像の高度化等により、より美しく消費者に魅力あるものを目指していく ■駿府楽市との定例検討会は実施できているが、これに業界を交えた間層的機能に絞った会合等を検討していく ■駿府楽市の静岡市特産品展示コーナーの展示会は引き続き継続していき、より一層の来場者の向上を目指す 		
産業振興プラン位置付け	政策方針 商工・物流 大施策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります 中施策 新市場・販路開拓に対する支援、シティプロモーションの推進	担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係	その他(特記事項)	

事業 6	ものづくり基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成27年度			
	事業名	(事業6) 新産業開発振興機構の活用に関する検討		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	地場産品の開発や販促をはじめ、地場産業界の競争力強化に関しては、新たな進展を図るため、製造事業者の集積機関である新産業開発振興機構との連携促進に向けて検討を進めます。		取組状況	H27.9.1 現在	静岡商工会議所機構事務局との協議を継続し、伝統工芸を含む地場産業と新産業開発振興機構との連携を模索する取組を推し進めていきます。 まずは、機構が有する多様な経営資源のなかから、どのような分野が伝統工芸とマッチングできるかを調整していきます。	
		補足事項	事業9-1との連携事業		進捗率等	H27.9.1 現在	0(%)
						H28.3.31 現在	0(%)
	成果目標	新産業開発振興機構との連携促進に向けた検討		事業評価	事業結果	静岡商工会議所機構事務局との連携を推進し、新産業振興開発機構との連携への基礎固めを行った	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針					
		大施策					
		中施策					
産業振興プラン位置付け	基本方向			次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	静岡商工会議所機構事務局との協議を継続し、伝統工芸を含む地場産業と新産業開発振興機構との連携を模索する取組を検討し推し進めていく		
	基本方針						
	基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)				

事業 7	ものづくり基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成27年度			
	事業名	(事業7) 中小企業技術開発支援事業		予算額	704千円		
				決算見込額	259千円		
	事業概要	この事業では、中小製造事業者や業界団体等を訪問し、開発や生産技術等に関する課題などを把握した上で支援テーマを設定し、中小製造事業者の生産活動を支援していきます。 初年度である平成26年度には3Dプリンタをテーマに設定し、セミナーの開催や、市・事業者で組織された研究会を通じて、商品開発を支援する仕組み作り等について検討を進めています。 今後は、県や関係機関との連携を強化しながら、3Dプリンタや、知的財産を利用した技術開発事業を検討し、引き続き、中小製造事業者に対する生産活動を支援していきます。		取組状況	H27.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■前年度は研究会を組織し、各テーマを置いて研究を進めたが、市内製造業者を中心に企業訪問を行い、現状のヒアリングを行った。 ■普及・活用が進まない現状として、以下のような理由が挙げられる。 <ul style="list-style-type: none"> ・活用できる環境を整理するための投資資金及び投資した結果がどれだけ成果として現れるかがわからない。 ・3Dプリンタの利用するために必要な、3DCADを扱える人材がない。 ・廉価な3Dプリンタを購入したものの、スピードや精度が求める水準に至らない。 ■活用可能性がある企業者に対してその知識を深められるようなセミナーを実施したい。 	
				補足事項	進捗率等	H27.9.1 現在	0 (%)
						H28.3.31 現在	(支援件数) 1件 100 (%)
	成果目標	研究会、セミナー等参加者への支援件数 1件/年		事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■清水技術訓練校(清水テクノカレッジ)と共催で、3Dプリンタ及び3DCADの専門家を招聘し、3DCADの活用を含めたセミナーを開催。 日時：平成28年3月11日(金)14:00～ 参加者：市内製造業者 7社 9名 内容：①3DCADについて②3Dプリンタについて③3DCAD検定についての3部構成とし、3Dプリンタが持つメリットデメリットを踏まえたうえで、製造現場での活用事例等を紹介し、参加者に対して活用検討の一助とした。 ■3Dプリンタはものづくりツールの一つであり、活用できるシーンが限定的である。また、興味はあるものの、3Dプリンタ自体がどのようなものであるかわからない事業者も多かった。 ■セミナー参加者のうち1社については、3DCAD技術の更なる習得に向け、技術訓練校の職業支援の枠組みについて紹介を行い、利用を促す等の支援を実施した。 		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	事業評価			次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
		大施策					
		中施策					
産業振興プラン位置付け	基本方向	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> ■3Dプリンタや3DCADに興味がある市内中小企業の相談に対して、各支援機関等と連携して支援が行えるような枠組みの構築を検討する。 				
	基本方針						
	基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)				

事業 8	ものづくり基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成27年度			
	事業名	(事業8) 若手グループの商品開発支援 (ものづくり相談・支援)		予算額	1,146千円		
				決算見込額	1,100千円		
	事業概要	この事業では、市内地場産業の活性化に向けて、デザイン、加工技術、経営等に関する各種講演会や講習会のほか、事業者のニーズに基づいて、実務経験等が豊富な人材を派遣し、地場産業関連事業者を支援します。		取組状況	H27.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■技術講習会の開催 塗装技術研究会の実施 5回(計8回予定) ■講演会の開催 漆器開発講演会0回(1回予定) ■商品開発事業の開催 漆器商品開発研究会(1回)(2回予定) ■展示会開催 乾漆開発品の展示会1回(2回予定) 乾漆商品開発研究会10回(24回予定) ■専門家派遣の実施 乾漆商品開発指導0回(1回予定) 	
				進捗率等	H27.9.1 現在	講演会、指導会開催回数 0回	0(%)
					H28.3.31 現在	講演会、指導会開催回数 2回	67(%)
	成果目標	講演会、指導会等の開催回数 3回		事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■技術講習会の開催 塗装技術研究会の実施 9回 ■講演会の開催 漆器開発講演会1回 ■商品開発事業の開催 漆器商品開発研究会(1回) ■展示会開催 乾漆開発品の展示会2回 乾漆商品開発研究会24回 ■専門家派遣の実施 乾漆商品開発指導(1回) 		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ■専門家によるデザイン開発講演会の実施 予定していた講師と業界団体等との日程調整不足によりデザイン開発講演会が未開催となったため、次年度においては著名講師と地元伝統工芸業界を中心に参加者ニーズの把握に努め、デザイン開発講演会及び流通化指導会等を実施していく。 ■漆器商品流通化の実施 乾漆を中心とした漆器商品開発については専門家指導により継続していく。 	
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
		中施策	新製品・技術開発等に対する支援				
産業振興プラン位置付け	政策方針	商工・物流	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等				
	大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
	中施策	新製品・技術開発等に対する支援					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成27年度				
	事業名	(事業9) 専門家の指導による商品企画・開発支援 (事業9-1) 商品企画・開発支援プロジェクト事業		予算額	指定管理料87,702千円の一部		千円	
				決算見込額	指定管理料87,702千円の一部		千円	
	事業概要	商品企画や開発支援では、産学交流支援センターにおいて、マーケティング等の専門家を活用し、地域資源を生かした商品づくりを支援します。		取組状況 H27.9.1 現在	【「静岡おみやプロジェクト商品開発講座・個別相談会」支援事業】 ・プロジェクト期間 平成27年6月25日～平成28年3月末 ・上限枠 5社 ・8月21日第3回商品開発講座を開催 これまでのおみやプロジェクト開発商品を事例に紹介しながら、調味戦略、パッケージ戦略について講演 ・講座終了後に個別相談会への参加者を募集(募集期間8/21～9/4) 【今後の予定】 ・9/8第1回個別相談会(商品企画相談会)を開催予定 ・10/16第2回個別相談会(調味個別相談会)を開催予定 ・10/23第3回個別相談会(パッケージ・デザイン個別相談会)を開催予定			
					補足事項	進捗率等	H27.9.1 現在	商品化件数 0件
	H28.3.31 現在	商品化件数 6件	100 (%)					
	成果目標	商品化件数 6件/年		事業評価	事業結果	【「静岡おみやプロジェクト商品開発講座・個別相談会」支援事業】 ・プロジェクト期間 平成27年6月25日～平成28年3月末 ・参加企業数 6社 ・マーケティングアドバイザーによる講義・個別対応、フードコーディネーターによる講義・個別対応、デザイナーによる講義・個別対応を実施。参加企業は、磨き上げ商品の開発及び商品パッケージの完成。 ・11/10 合同商品試食評価会実施 ・11/28・29 テストマーケティング実施 ・3/22 成果発表会実施 ・3/26・27 お披露目販売会実施		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	3 商工・物流			事業評価	事業結果	【「静岡おみやプロジェクト商品開発講座・個別相談会」支援事業】 ・プロジェクト期間 平成27年6月25日～平成28年3月末 ・参加企業数 6社 ・マーケティングアドバイザーによる講義・個別対応、フードコーディネーターによる講義・個別対応、デザイナーによる講義・個別対応を実施。参加企業は、磨き上げ商品の開発及び商品パッケージの完成。 ・11/10 合同商品試食評価会実施 ・11/28・29 テストマーケティング実施 ・3/22 成果発表会実施 ・3/26・27 お披露目販売会実施
		大施策	01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します					
		中施策	01 戦略産業の育成・集積を推進					
産業振興プラン位置付け	基本方向	3 商工・物流	事業評価	事業結果	【「静岡おみやプロジェクト商品開発講座・個別相談会」支援事業】 ・プロジェクト期間 平成27年6月25日～平成28年3月末 ・参加企業数 6社 ・マーケティングアドバイザーによる講義・個別対応、フードコーディネーターによる講義・個別対応、デザイナーによる講義・個別対応を実施。参加企業は、磨き上げ商品の開発及び商品パッケージの完成。 ・11/10 合同商品試食評価会実施 ・11/28・29 テストマーケティング実施 ・3/22 成果発表会実施 ・3/26・27 お披露目販売会実施			
	基本方針	01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します						
	基本施策	01 戦略産業の育成・集積を推進						
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他(特記事項)	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 ・本講座の内容では、参加事業者の商品化への意欲にバラつきが発生し、確実に商品化までフォローすることが難しかった				

事業	ものづくり基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成27年度			
	事業名	(事業9) 専門家の指導による商品企画・開発支援 (事業9-2) 新商品・特許事業		予算額	715千円		
				決算見込額	640千円		
	事業概要	市内中小製造事業者が取り組む新商品の開発及び特許等の産業財産権の取得などについては、その出願経費の一部を助成します。 なお、新商品開発の経費助成については、本市産業経済の牽引が期待される産業に関して、産業振興プランに掲げる戦略産業の事業者を対象に助成内容の拡充について検討します。		取組状況	H27.9.1 現在	<p>■新商品等開発助成 新規性・市場性・事業完了見込等を基準とした審査を経て、5件の補助金交付申請を受理している。今後、1月末までに中間検査を実施し、年度末の事業完了報告を経て補助金を交付する。(交付見込額:3,550千円)</p> <p>■産業財産権出願等助成 9月1日現在、補助金交付申請件数は13件となっている。 特許:4件、意匠:3件、実用新案:1件、商標:5件 今後、事業完了報告を経て補助金を交付する。 (交付見込額3,150千円)</p>	
				進捗率等	H27.9.1 現在	(新商品助成件数)5件予定 (産業財産権助成件数)21件	104 (%)
					H28.3.31 現在	(新商品助成件数)5件 (産業財産権助成件数)30件	140 (%)
	成果目標	新商品開発及び産業財産権出願等の件数 25件/年					
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業結果	<p>■新商品等開発助成 新規性・市場性・事業完了見込等を基準とした審査を経て、5件の補助金交付申請を受理した。中間検査で現地訪問により進捗状況を確認したところ、各事業所とも課題等はあるものの、順調に開発を進めており、交付決定した5社全て、年度内に開発を終えることができた。 (交付金額:3,015千円)</p> <p>■産業財産権出願等助成 年度末までに次のとおりの交付申請があった。 申請件数 30件 (内訳)特許 16件、意匠 3件、実用新案 3件、商標 8件 (交付金額:3,380千円)</p> <p>■事業の周知活動 市内金融機関等の各関係企業、団体への訪問や会議においての説明を通じて、本事業の周知を図り、助成制度の活用促進に努めた。</p>	
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
		中施策	新商品・技術開発等に対する支援				
産業振興プラン位置付け	基本方向			事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>■新商品等開発助成については、前年度本補助金を利用した企業に対するヒアリングを行い、開発した商品の現況を把握する。課題等がある場合は、解決に結び付くよう支援を検討する。</p> <p>■両事業共に、他の団体及び支援制度等との連動を意識し、より効果的に支援が出来る施策となるよう検討したい。</p>		
	基本方針						
	基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)				

事業 10	ものづくり基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成27年度			
	事業名	(事業10) アーティストとのコラボレーション支援推進 (ニューウェーブしずおか創造事業)		予算額	6,437千円		
				決算見込額	6,434千円		
	事業概要	この事業では、本市の特色を生かして開発される家具等の新商品開発と新規の流通開拓を支援します。 具体的には、意欲ある企業による研究会の立ち上げのほか、事業者とデザイナー等との協働によって開発された商品を流通市場で広くPRすることで販売促進を支援します。		取組状況	H27.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■商品のリデザインと試作 昨年度参加のチームを基に、新たにデザイナーとデザイン開発を行い試作を行った。プロデューサー指導のもとブラッシュアップに努め、商品の完成度を高めた。 ■販売ツール作成と広報活動 開発品の撮影等を行いパンフレットを作成中。HPやブログ等で途中経過や展示会告知を実施中。 ■展示会への出展(予定) 「東京インターナショナルギフトショー」(2月)に出展予定。商品化を図るべく出展に向けての準備を行っている。 	
				進捗率等	H27.9.1 現在	0(%)	
					H28.3.31 現在	(開発点数) 平成27年度 30点 ※平成26年度～単年度事業 150(%)	
	成果目標	開発点数 各年度 20点		事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■事業参加者及びデザイナーの各チームの決定 意欲ある事業参加事業所を募り、各社がプロデューサー指導のもとデザイナーを決定し、協議を行った。 ■デザイン開発 各チームごとに協議を繰り返し、ビジョンの策定とそれに基づくデザイン開発を行った。 ■試作とリデザインによる製品試作 デザイン図面に基づき、試作を行い、必要に応じリデザインや再試作等を実施し、プロトタイプを開発した。 ■販売ツール作成と広報活動 開発品の撮影等を行いパンフレットを作成。HP等で展示会等について告知を行いPRに努めた。 ■展示会への出展 「東京インターナショナルギフトショー」(2月)に出展。多数の来場者の反応を確かめ、営業活動を行った。 ■商品化の摸索 商品修正及び小売店等での小規模展示を実施。各展示会出展等での反響先を中心として、営業活動を継続。販路開拓作業を継続実施した。 		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業評価	次年度に向けた改善点 <ul style="list-style-type: none"> ■改善点等 ①前年度に引き続き単年度事業とする。 ②事業期間の短縮に対応するため、開発チームは既存の参加チームをもとに再構築し、また既存開発品があればリニューアルを行うなど効率化できる部分を活用し、効率化に努める。 ③流通化をより高めるため、首都圏での見本市出展に加えて、小売店出展や小規模展示会等により、市場への展開を多面化する。 	
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
		中施策	新製品・技術開発等に対する支援				
産業振興プラン位置付け	政策方針	商工・物流	その他(特記事項)				
	大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
	中施策	新製品・技術開発等に対する支援					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係						